



名取久仁春議員

教育大綱の柱は

富士見町総合計画を基本に4本立てで考えている

質問：…3月に制定予定の教育大綱の柱は。

教育長：…富士見町第5次総合計画を基本として、以下の4点を柱に考えている。

- 1、地域ぐるみで子どもを育てる仕組みづくり
- 2、学力・体力向上及び教育環境の充実
- 3、子育てしやすいまちづくり
- 4、生涯学習・生涯スポーツの充実

1、地域ぐるみで子どもを育てる仕組みづくり：…地域や保護者の皆様が、学校に入って、

活動をしてもらおう。保育園も考えている。すでに取り組んでいる内容もあるが、持続することが重要と考える

2、学力・体力向上及び教育環境の充実：…単に知識を身に付けるだけではなく、仲間と共に創意工夫をして、

新たな発想を見出し、いく、つまり実践的能力であり、より主体的・積極的に学びに向かう学習改善が必要である。

3、子育てしやすいまちづくり：…これはほんとうに大事である。富士見の自然を生かした保育、地域との連携、母子共に心の安定を図る相談体制の充実が重要である。

4、生涯学習・生涯スポーツの充実：…第5次総合計画では、別立ってになっているが、教育大綱では欠かせない視点の一つであり、新たに学び続けるまち富士見として加えたい。いずれにしろ、これから予算化が必要な内容

もある。今年度中に町長の下で教育大綱を策定していく。

質問：…コーディネーターの選定方法は。

教育長：…教育現場に精通している方を中心に人選を進めている。

質問：…今、理科離れが深刻であるとの指摘がある。諏訪で実践しているものづくり教育を取り込むお考えは。

教育長：…理科教育については、富士見中ではしっかり取り組んでいる。

ものづくり教育の重要性は十分認識しているが、富士見町は新たに取り組む課題が多く、対応は難しいが、今後地域連携の中で考えていきたい。

質問：…幼児教育の充実において、未満時の自宅保育に対する助成は考えられないか。

町長：…子育て支援に、従来に比べて2000万円くらいの増額を考えているが、具体策はこれから検討する。



小林市子議員

人口減少や高齢化に伴う過疎集落抑止への対策

各集落から出る要望にきちんと対応している

質問：…集落機能を担う人材不足は深刻な状況。具体的な支援策は。

町長：…39集落あるが、それぞれの区長から出てくる要望に、町としては優先的に対応している。集落に税金を大幅に回して、何かして

くださいと言っても、税金のバラマキになる。集落から、将来に計画性を持った持続可能な進め方が出てくれば対応していく。

質問：…テレワーク事業関連の移住者が、定

住した後、過疎集落への支援効果の狙いは。

町長：…彼らが町民として5年間に150人移住・定住しコミュニ

ティや絆を作ると言う施策で、若者が町を活性化させることが目的。

質問：…集落を横断的に活動し、目配りや共同作業の手伝い等をする集落支援員制度（総務省で推進）の利用は。

町長：…地域おこし協力隊は、総務省の進める制度だが、3年間で帰ってしまおうので、それ以外の活動は期待していない。

質問：…集落支援員制度も同じ総務省が進めている制度ですが、社協や包括支援センターの活動に実践部隊として利用できないか。

町長：…制度をよく調べてみてから検討します。

■まち・ひと・しごと創生富士見モデル総合戦略（素案）について

質問：…人口減少対策

に日本版CCRC（都市部の高齢者が、元気なうちから地方へ移住する構想）の仕組みを可能と考える根拠は。

町長：…サ高住（サービス付き高齢者向け住宅）については、民間業者が施設を建て、特養（特別養護施設）に入所することになった

ら、出身自治体で保険の費用を持つ事になっているので、富士見町として、お金を出すことは無い。

退職して年金暮らしになった人達が移住し、富士見町の為に約20年間健康で働いてくれると、経済的にも助かる

制度であり、受け入れていく考えがある。

質問：…地域福祉の充実等まちづくり事業の実現についての役割は。

町長：…広域で計画している第6期介護保険事業計画に沿って住民福祉課と地域包括支援センター、社協が一体となって新しい仕組みに取り組んでいる。